Smile Tough Active Respect 西泊！ Ver.2 ～つなげよう 星座のように～

西泊中だより

第41号
令和８年10月30日発行
文責　校長　松本結花

学校教育目標「夢を抱き、信頼し、笑顔のあふれる学校」

研究授業を行いました

本校では今年度、「学習の基盤となる言語能力の育成～読んで分かる・聞いて分かるを目指して～」という研究主題の下、校内研究に取り組んでいます。

先日、２年１組の国語科の授業で研究授業を行いました。たくさんの先生方が参観に来られて、少し緊張気味でしたが、ペア活動の際にはコミュニケーションをとりながら丁寧に文章を読みとったり、作業を行ったりして、積極的に授業に取り組んでいました。

19 世紀後半欧米諸国がアジアに進出する中、日本国内では近代化を目指す明治維新が起こり、それに伴って外国の技術や文化を導入する動きが活発になった。
「活発になった」のは何か。 （ア）欧米諸国　（イ）明治維新 （ウ）外国の技術や文化　（エ）導入する動き

１学期に本校の生徒の課題を把握するため、学校独自に作成した読解力のテストを行ったところ、本校では、文章における主語と述語の関係や修飾語がどこに係っているかを正しく構造化できていない生徒が多いことがわかりました。上の問題は実際に行ったテスト問題です。活発になったのは「（エ）導入する動き」が正解ですが、生徒全体の正答率は54%と私たち教職員の予想をはるかに下回る結果でした。このことから、子どもたちは LINE やチャットでの短い文章でのやり取りに慣れてしまって、文章が少し複雑になると、飛ばし読みをしたり、なんとなく単語をつなぎ合わせて文章を読んだりしているのではないかということが考えられます。文章が正しく理解できなければ、学校のテストや受験の際にも致命的な失点につながることもあります。現在、各教科の授業の中で、主語や述語に注目させるなどの取組を行っており、課題の克服に努めています。今後、同様の読解力テストを定期的に行いながら、生徒の変容を確認していく予定です。



法教育講座

長崎市が進める「キャリア教育推進事業」を活用して、弁護士の〇〇〇〇先生を講師にお迎えして「法教育講座」を実施しました。

講座の中では、日本は口頭の約束で契約が成り立つことや、今は何かトラブルがあった際は責任を保護者の方が担うことになるけれど、成人したら自分自身で責任を負わなければならなくなることなど丁寧にお話しいただきました。また、ペアで売買契約書を作成することで、実際に契約する際にどんな条件が必要なのかなどを具体的に考えました。

成人年齢が18歳に引き下げられ、子どもたちの「職業的自立」や「社会的自立」への関心や意欲を義務教育段階で育成することが、これまで以上に重要であることを年々痛感します。大人になるということは様々な権利を得られる反面、それに対する責任を問われる立場になるということです。これを機会に、そう遠くない未来の「18歳の責任」について考えてみてほしいと思います。





